

静岡日仏協会

フランスでの商品展開の第1歩に!  
カンヌ市での静岡物産紹介イベント  
参加者募集!

静岡日仏協会は、姉妹都市である静岡市とフランス・カンヌ市をつなげる「SHIZUOKA EXPO CANNES 実務委員会」を立ち上げた。第1弾として5月14日にカンヌ市で開かれる日本の祭り「カンヌ市夏祭り」主催、カンヌ日仏協会の中で「静岡物産紹介イベント」を開く。このほど現地出店や商品の紹介委託をしたい企業・個人を募集している。すでに㈱エスクリエイト（静岡市清水区）と㈱パピアパベル（三島市）の参加が決まっている。



昨年の姉妹都市提携25周年記念事業では、田辺信宏静岡市長がカンヌ市を訪問し、熱烈な歓迎を受けた。その時に、カンヌ市長から30周年には、カンヌ市で静岡市を紹介する事業を開催する案が提起され、相互協力することが確認された。その30周年に向けて、静岡日仏協会とカンヌ日仏協会は毎年、日本好きフランス人で盛り上げる「カンヌ市夏まつり」で、静岡物産紹介イベントを開くことを発表した。

フランスで続く日本ブーム  
カンヌ市から静岡ブランドを発信!  
フランスでは日本ブームが続いているが、残念ながら静岡の知名度はまだまだ低いという。カンヌ市と姉妹都市であることをフックに、一気に静岡ブランドをカンヌ市から発信していく考えた。イベントにはコーディネート兼通訳が同行し、現地市民とのコミュニケーションや会場手配などをサポートする。参加企業等は、感性豊かなフランス人の反応を体感したり、フランスでの商品展開の第1歩や海外経験としての企業UPに役立てることができ。参加費は、現地出店・商品委託ともに2万5000円（渡航・宿泊・その他輸送料等は別途負担）。

水鳥工業  
mizutoriと宝塚大学で下駄を擬人化  
「水鳥ここん」ちゃん  
下駄の製造・販売の㈱水鳥工業静岡市葵区平和1-18-22。水鳥正志社長は、宝塚大学東京メディア芸術学部デザイン表現研究室（東京都新宿区）と共同でキャラクター「水鳥ここん」を開発した。水鳥工業が手がける「URUSHIシリーズ」の下駄である「KOKON」を擬人化したもの。2月に開かれた「東京インターナショナル・ギフト・ショー2017春」の水鳥工業ブースで初披露した。大



学側の担当は、東京メディア芸術学部デザイン表現研究室の渡邊哲也准教授。キャラクターの作画を担当したのは、同学部広報誌「NEWS LETTER」内でマンガ「はらべこ新宿食い道楽」を連載している漫画家のあゆ丸（宝塚大学大学院メディア・造形研究科1年生）さん。  
「ここんちゃん」は下駄タイプが趣味の下駄娘。「ここん」ちゃんの設定は静岡市に住む下駄屋の看板娘（大学2年生・20歳）。趣味は、下駄のタップダンスと食べ歩きと旅行。性格は明るく優しく、チャレンジ精神旺盛だ。今後は「ここん」ちゃんのマンガを作成する予定。同大学広報誌内に掲載されるマンガ「はらべこ新宿食い道楽」番外編「静岡ローカルグルメ」にも登場する。また、配布物などを作成し、PR展開していく予定だ。  
詳しくはツイッター @mizutori\_kokon (https://twitter.com/mizutori\_kokon) を参照。

「ここんちゃん」は下駄タイプが趣味の下駄娘。「ここん」ちゃんの設定は静岡市に住む下駄屋の看板娘（大学2年生・20歳）。趣味は、下駄のタップダンスと食べ歩きと旅行。性格は明るく優しく、

Shizuoka  
**Business Report**  
No.1356  
3/20



人/な/句  
**村上信也**  
村上工業株式会社 代表取締役社長

Company File カンパニーファイル  
三協テック株式会社 東海

オトナの休息時間  
[スバニッシュ・イタリアン] Don Porco